

品番 **LBP58530K**

お客様へ

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。ご使用前に「安全上のご注意」(1~2ページ)を必ずお読みください。保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

工事店様へ

この説明書は必ずお客様にお渡しください。

上手に使うって上手に節電

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産への損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を、次の図表示で説明しています。



してはいけない内容です。

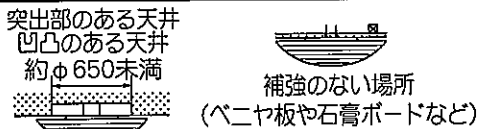


実行しなければならない内容です。

警告

■こんな場所に取り付けない

下図のような取り付けは火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。



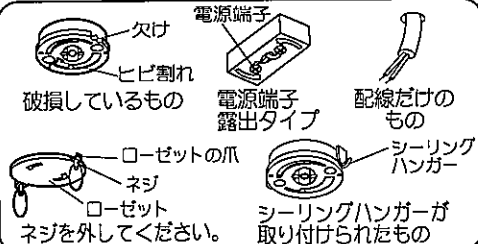
平面部が約φ650未満の天井



この器具は天井面取付専用です。

■こんな配線器具には取り付けない

火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。



●配線器具の交換が必要です。配線器具の交換には資格が必要です。工事店、電器店に依頼してください。



禁止

■ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところにおかない

あやまって、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。



分解禁止

■器具を改造したり、部品交換をしない

守らないと、火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。

■交流100ボルトで使用する

過電圧を加えると過熱し、火災・感電のおそれがあります。

■配線器具は十分な強度で取り付けられていることを確認する

上下、左右にがたつくものに取り付けしないでください。落下によるけがのおそれがあります。配線器具の交換が必要です。配線器具の交換には資格が必要です。工事店、電器店に依頼してください。

■異常を感じた場合、速やかに電源を切る

異常状態が収まったことを確認し、販売店または(別紙)ご相談窓口にご相談ください。



必ず守る



禁止

⚠ 注意



必ず守る

■照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検、交換してください
点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。
●1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。



禁止

■温度の高くなるものを器具の真下に置かない
器具の真下にストーブなどを置かないでください。火災の原因となることがあります。

■他の調光器と組合せて使用しない
調光機能付壁スイッチなどの調光器と組合せて使用しないでください。火災の原因となることがあります。
●調光器の取り外しが必要です。調光器の取り外しには資格が必要です。工事店、電器店に依頼してください。



接触禁止

■点灯中や消灯直後のランプやその周辺にさわらない
守らないと、やけどの原因となることがあります。



水ぬれ禁止

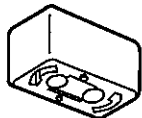
■浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない
この器具は非防水です。火災・感電の原因となることがあります。

付属部品の確認

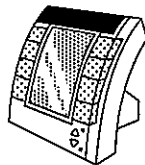
施工する前にまず付属部品をご確認ください

●本体取り付け用付属部品

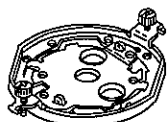
□ 角型引掛シーリング



□ リモコン(HK9323)

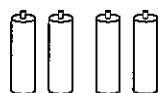


□ 取付金具 (本体止めネジ付)



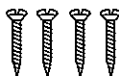
□ 単3形乾電池(4本)

〔詳細につきましてはリモコンの取扱説明書をご覧ください。〕



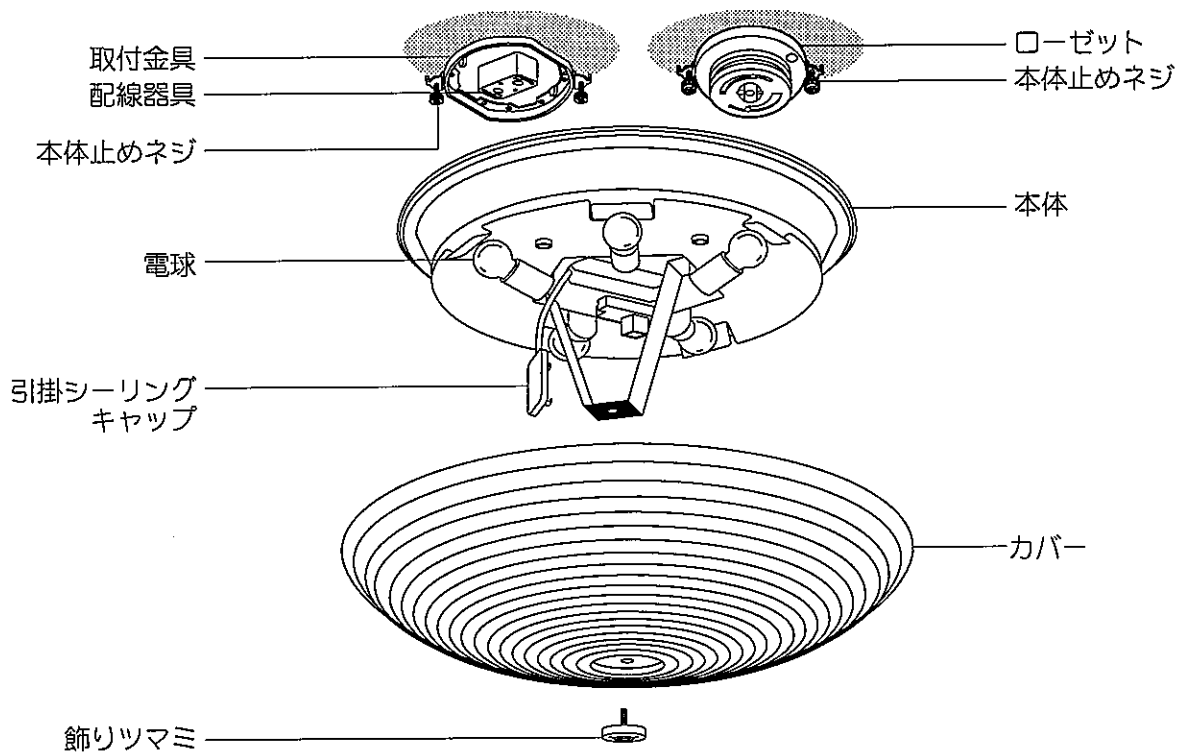
□ 木ネジ 4本

〔取付金具用2本
配線器具用2本〕



各部のなまえ

- 器具を下図の状態にしてから施工を行ってください。
- ボルトによる取り付け、アウトレットボックスに取り付ける場合は、工事店・電器店に依頼してください



照明器具を取り付ける


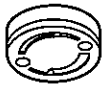
安全のため、電源を切ってから行ってください



取り付け前の準備

天井の配線器具を確認して、取り付けの準備をする

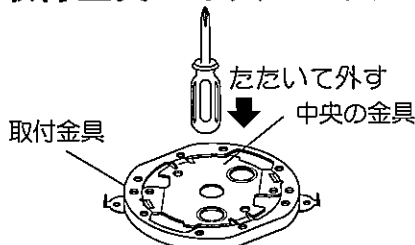
取り付けできる配線器具

下記以外の場合は、配線器具の交換が必要です。

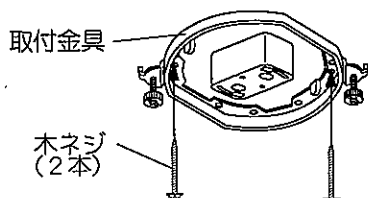
		
角型引掛シーリング 品番：WG1000	丸型フル引掛シーリング 品番：WG5005 WG5015	丸型引掛シーリング 品番： WG1500・WG4000 WG4005・WG4420 WG4425
付属の取付金具の取り付けが必要です		

	
引掛埋込ローゼット 品番：WG6000 WG6420	フル引掛ローゼット WG6005
引掛露出ローゼット 品番：WG6130	
付属の本体止めネジの付替えが必要です	

① 取付金具の中央の金具を外す



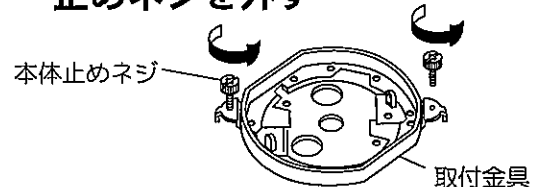
② 補強材のある場所に付属の木ネジ(2本)で取付金具を取り付ける



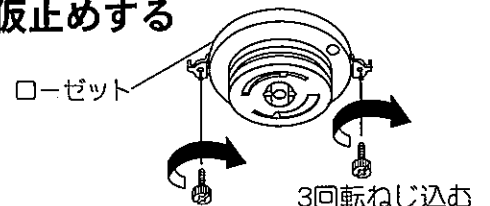
⚠ 警告

取付金具が十分な強度で取り付けられていること必ず守る 落下によるけがのおそれがあります。

① 取付金具に付いている本体止めネジを外す

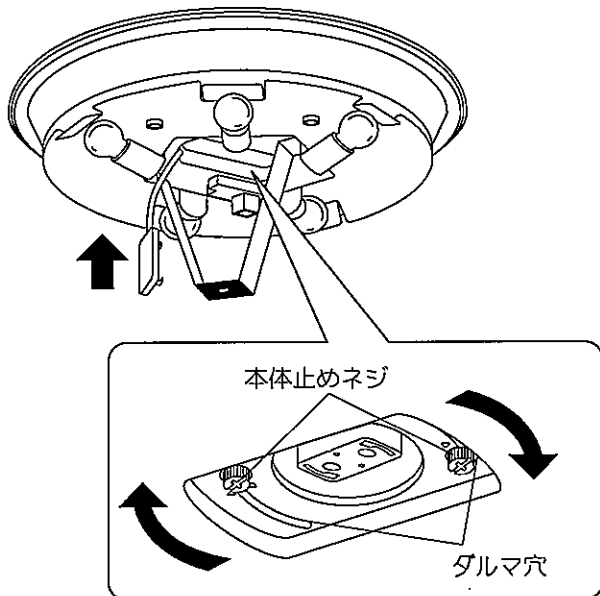


② ローゼットに本体止めネジを仮止めする

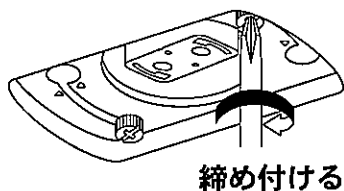


取り付け方

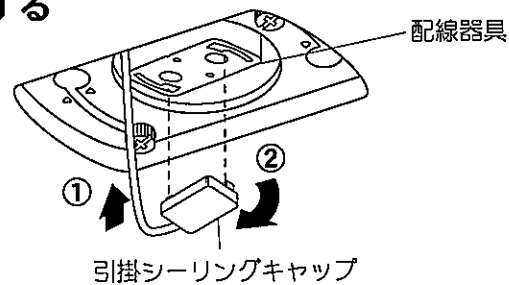
- 1** 本体止めネジにダルマ穴を合わせて
取付板を押し上げ右に回す



- 2** ドライバーなどで本体止めネジを
締め付ける



- 3** 配線器具に引掛シーリングキャップを
接続する



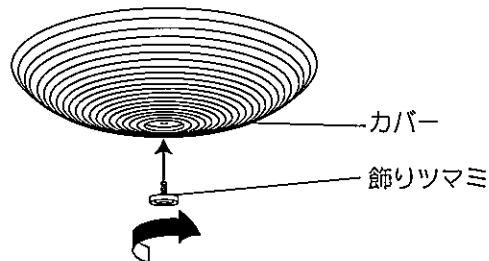
- 4** リモコンのチャンネルを設定する

※一部屋で複数のリモコン照明器具を使用する
場合のみ設定が必要です。

☞ 5ページ「チャンネル設定のしかた」参照。

- 5** 飾りつまみによりカバーを取り付ける

カバーが確実に取り付けられていることを
確認してください。



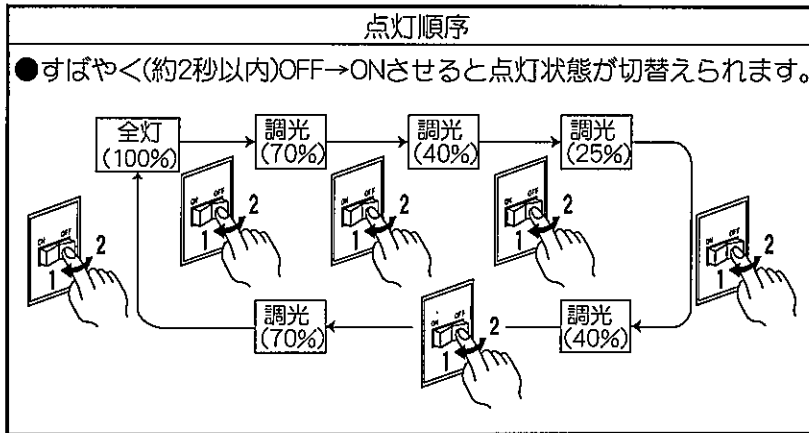
⚠ 警告

! **カバーを確実に取り付ける**
取り付けが不完全な場合、落下によるけがの
必ず守る 原因となることがあります。

操作方法

壁スイッチによる操作方法

この照明器具は壁スイッチを使って、点灯状態を切替えられます。



壁スイッチで操作するには

- 壁スイッチで2秒以上消灯すると、消灯直前の点灯状態を記憶しています。その後壁スイッチで点灯すると
 - (1) 消灯前が全灯の場合、全灯状態になります。
 - (2) 消灯前が調光の場合、調光状態になります。
- 壁スイッチをOFFにすると、どの点灯状態でも消灯します。

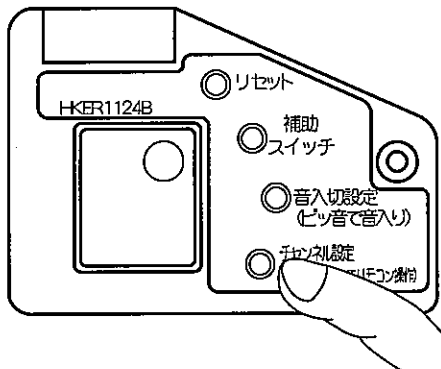
※壁スイッチをONにしても点灯しない場合、すばやく(約2秒以内)OFF→ONさせると全灯状態となります。
 ※壁スイッチ1個で2台以上の器具の使用はできません。

チャンネル設定のしかた

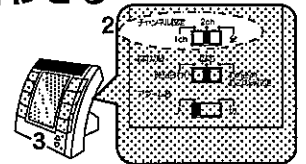
チャンネル設定は、リモコン送信器を照明器具に向けて確実に行ってください。

器具のチャンネルを変えたい場合

1 「チャンネル設定スイッチ」を押す



2 リモコンのチャンネルを希望のチャンネルに合わせる



3 器具に向けてリモコンの調光ボタンの△明または▽暗を押す

4 「ピピー音」がして設定完了します
例では、チャンネル2に設定されます。

リモコン受信部のはたらき

リセットスイッチ

動作が異常の場合に押します。
(こんなときにはの項参照)

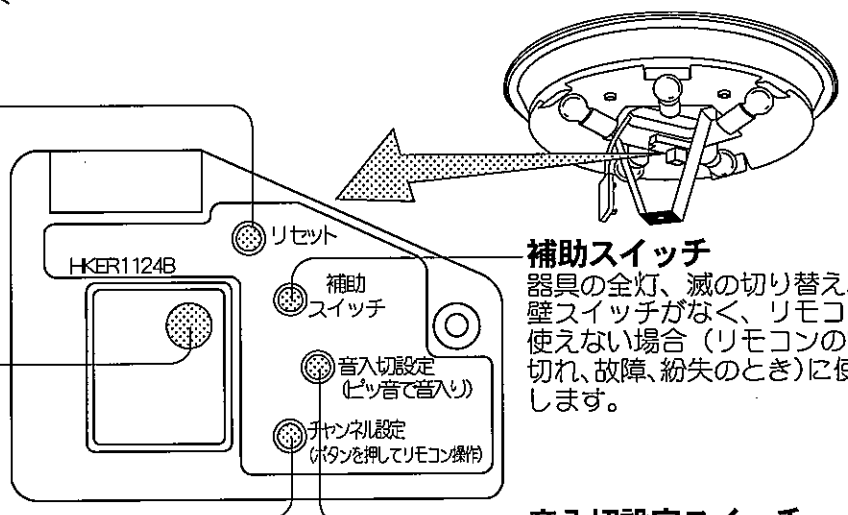
※リセットスイッチを押した場合は、チャンネル1 (又はI-1) に戻ります。

リモコン受信部

リモコンからの信号を受けます。
(傷つけたり、汚したりしないでください。)

チャンネル設定スイッチ

このボタンを押してから、リモコンを操作します。
(チャンネル設定のしかたの項参照)



補助スイッチ

器具の全灯、滅の切り替え。
壁スイッチがなく、リモコンが使用できない場合 (リモコンの電池切れ、故障、紛失のとき) に使用します。

音入切設定スイッチ

リモコン操作時の音の入→切
「ビップ音」で音入り、無音で音切になります。

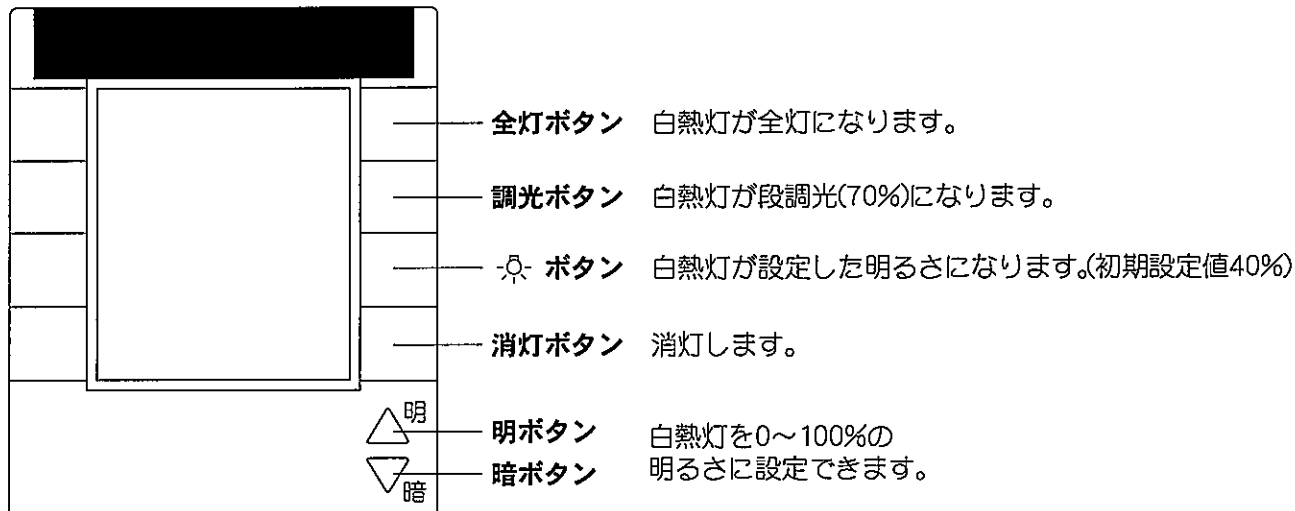
●長時間使わない時には壁スイッチをOFFにしてください(節電のため)。壁スイッチをONでリモコン消灯するとリモコン待機(1.5W以下)の電力を消費します。

操作方法

必ず壁スイッチのある部屋又はリモコンと組み合わせてご使用ください。

リモコンによる操作方法

ボタンひと押しで、お好みの点灯状態に切替えられます。



ボタン	全灯	調光	☀️	消灯
点灯状態	点灯(全灯)	段調光(70%)	点灯 △明 ▽暗 で0~100%調光 (初期設定値40%)	消灯

- 暗ボタンで消灯した場合 ☀️ ボタンは100%の明るさに設定されます。器具のリセットスイッチを押した場合は ☀️ ボタンは初期設定値40%に戻ります。
- 天井、壁、床の色や材質で操作距離が短くなることがあります。
- 点滅操作できない場合には電池を交換してください。
- リモコンを落としたり強い衝撃を与えないでください。
- 室温が低いと(10℃以下程度)点灯直後、リモコンで切替えにくい場合があります。その際は、しばらくしてから切替えてください。

タイマー機能について

付属のリモコン送信器(HK9323)で、次の機能がご使用になれます。

- おめざめタイマー機能(ASSA機能)
快適なお目覚めをお手伝いします。
- おこのみ点灯タイマー機能
設定した時刻におこのみの点灯状態にできます。
- おやすみタイマー機能
おやすみタイマーにより一定時間(10,30,60,90分)が経過すると自動消灯します。

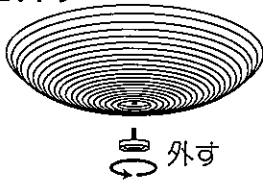
タイマー機能の詳しい使い方はリモコン送信器(HK9323)の取扱説明書をご覧ください。

ランプを交換する

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

- パナソニック製ランプをお求めください。ランプの種類は器具に表示しています。間違った種類・ワット数のランプを使用すると火災の原因となります。

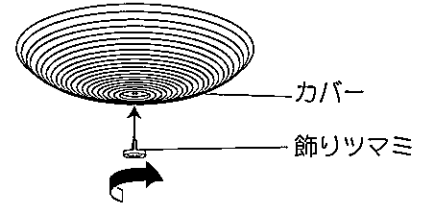
1 カバーを外す



2 電球を交換する

3 飾りつまみによりカバーを取り付ける

カバーが確実に取り付けていることを確認してください。



警告

必ず守る カバーを確実に取り付ける
取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となることがあります。

使用上のご注意

- 器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
- 照明器具のきわめて近くでは、他の機器（エアコンなど）のリモコンが動作しにくくなる場合があります。
- 点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮により若干のきしみ音が照明器具から発生することがありますが、異常ではありません。
- 非常に短い停電が起こると点灯状態が切り替わることがあるため、長時間使わない時は壁スイッチをOFFにしてください。

仕様

付属ランプの品名は、ランプに表示しています。ご確認ください。

使用電圧	消費電力	付属ランプ	付属ランプの定格寿命
AC100V	300W(リモコンでOFF時1.5W)	60形ミニクリプトン電球 5個 (100V用・E17)	1000h (時間)

- 使用電圧のばらつきによりランプ寿命が短くなることがあります。使用電圧が5%上がると寿命が半分になります。

お手入れについて

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

- 明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に1回程度）に清掃してください。汚れがひどい場合は、石けん水にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いたやわらかい布で仕上げてください。
- シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。

故障かな？と思ったら

下表に従って点検してください

現象	原因	対策
リモコンで操作できない	壁スイッチがOFFになっている。	壁スイッチをONにする。
	リモコンと照明器具のチャンネルが合っていない。	チャンネル設定スイッチを押した後リモコン操作する。
	リモコンの電池が消耗している。	電池を交換する。
	リモコンの電池が正しく入っていない。	電池を正しく入れる。
	電球が切れている。	電球を交換する。
補助スイッチで操作できない	壁スイッチがOFFになっている。	壁スイッチをONにする。
	電球が切れている。	電球を交換する。
壁スイッチで切替えない	電球が切れている。	電球を交換する。

左記の処置を行っても現象が続く場合

- ① 電源をいったん切り、再度入れる
- ② 器具内スイッチのリセットスイッチを押す
- ③ 器具のチャンネルを変更する
(5ページ「チャンネル設定のしかた」参照)

- 上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、工事店、電器店、お客様ご相談窓口(保証書内在中)にご相談ください。

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、「修理ご相談センター」へ!
- その他は、「お客様ご相談センター」へ!

■保証書 (別添付)

保証書は、必ず「販売店名、購入日」などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保管してください。
保証期間はお買い上げ日より1年間です。
(ランプなどの消耗品は除きます。)

※保証の例外 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。

■補修用性能部品の保有期間 **6年**

この照明器具の補修用性能部品 (電気部品) を製造打切り後最低6年間保有しています。

注) 補修用性能部品とは、機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

ご連絡いただきたい内容

①製品名 ②品番 ③お買い上げ日 ④異常の状況(できるだけ具体的に)

- 保証期間中は、お買い上げ日を特定いただき、お買い上げの販売店までご持参ください。販売店が修理させていただきます。

- 保証期間を過ぎているときは、修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。

- 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用です。

部品代 修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 ご依頼により技術者を派遣する費用です。